

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	下田 良秀（5）	<p>1. ウィズコロナの中での富士市の稼ぐ力向上への取組について</p> <p>人口減少・少子高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症による影響の中、地方自治体の財政状況は大きな岐路に立たされている。</p> <p>国では人口急減・超高齢化という我が国の地方自治体が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生できることを目指す中で、まち・ひと・しごと創生基本方針2021が閣議決定された。</p> <p>それに伴い各自治体が様々な取組を行っているが、ウィズコロナや自治体間競争も叫ばれる中で、思うような効果を上げられていない自治体も少なくないのが現状である。</p> <p>私も以前、富士市の少子高齢化の社会状況の変化や様々な背景を考慮し、「富士市の稼ぐ力向上について」質問をさせていただいた。その後ウィズコロナの中で、近隣市である裾野市は2021年度の企業版ふるさと納税で日本一となる17億4000万円を集めている。また紋別市では令和3年度の一般会計の予算規模が286億円余の中で、一般のふるさと納税で約154億円を集め日本一となり、一般会計に100億円繰り入れている。自治体が稼ぐ努力をすることによる市の財政に与えるインパクトはより大きくなっており、我が市の稼ぐ力を向上させることの重要性も増してきていると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 2017年6月定例会の一般質問において、稼ぐ力向上を踏まえて議論した中で、検討することや進めることとした以下の3点について、どのような進展や取組があったか伺う。</p> <p>① 国、県の補助金確保の推進や知識共有について</p> <p>② 外部人材登用も含めた人材の適材適所での配置について</p> <p>③ 新たな産業の創出・育成に向けた支援、企業誘致・留置等の推進について</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税を含む富士市のふるさと納税の現状と課題を伺う。</p> <p>(3) 富士市の稼ぐ力向上について、今後予定している施策を伺う。</p>	市長 及び 担当部長